

日刊 CARGO

物流総合紙

Daily CARGO Transport & Logistics News

2017年(平成29年)
9月21日
木曜日
第11706号

月曜～金曜発行(祝日を除く)
購読料:1カ月8,000円+税
(昭和44年9月30日 第三種郵便物認可)

発行所:株式会社海事プレス社
本社:東京都千代田区岩本町2-1-15 吉安神田ビル3階
TEL03-5835-4161(代表) FAX03-5835-4160
関西支局:大阪府大阪市西区京町堀1-17-8 京ビル5階
TEL06-6441-9800 FAX06-6441-9801
http://www.kaiji-press.co.jp
http://www.daily-cargo.com
©海事プレス社2017 禁断転載

ドコマップジャパン 富士運輸 トラボックス イーソーコ NTTドコモ

5社で新プラットフォーム



(左から) イーソーコの大谷巖一会長、トラボックスの吉岡泰一郎社長、ドコマップジャパンの高林治幸社長、富士運輸の松岡弘晃社長、NTTドコモ関西支社の紀伊肇常務執行役員関西支社長、同関西支社の関根聡法人営業部長

AIでトラック「空車回送」削減

ドコマップジャパン、富士運輸、トラボックス、イーソーコ、NTTドコモ関西支社の5社は20日、AI(人工知能)を活用してトラック輸送の「空車回送」を削減する新プラットフォーム構築について協業することを含意した。同日、大阪市内で共同会見した。構築するのは物流業界に特化したオープンプラットフォームで、運送会社間のマッチングによる空車回送の削減を目指す。

今回構築するプラットフォーム「docomapp JAPAN」の基礎となっているのは、ドコモの「かんたん位置情報サービス」を基盤技術に、富士運輸が開発した車両位置情報システム「DocoMAP」だ。ドコモのGPS端末を車両に取り付けることで、その車両の位置情報がシステムに記録される仕組み。GPS端末から送られた位置情報はクラウド型専用サーバーに記録され、パソコンやスマートフォンで全車両の位置が表示される。「docomapp JAPAN」は、そのGPS端末を参加する運送会社のトラックに取り付け、運送会社間の配送をマッチングさせる。物流業界では、トラックの「空車回送」が問題となっている。トラック・ドライバーが不足し、高齢化などの問題を抱えており、「空車回送」の解決が課題となっている。新プラットフォーム「docomapp JAPAN」により、全国の運送会社の空きトラック情報や倉庫情報、渋滞情報、運送会社情報を一つのプラットフォームに表示することで、各事業者の自社の車両情報はもちろん、他社の空きトラック情報も一

つの地図上で確認できる。これにより、これまでなじみのある会社間でしか荷物の受け渡しを行ってこなかった事業者も、「docomapp JAPAN」上で、他の空きトラック車両を見つけ、荷物の受け渡しを依頼し、中継輸送が可能になるなど、運送会社間のマッチングの実現が期待できる。さらに運送会社間のマッチングにドコモのAIを活用することで、空車車両を活用したい運送会社と備車を探し運送会社を効率的にマッチングできるという。

これまでも運送会社と荷主を結ぶマッチングサービスはあったものの、間に入るサービス提供会社が手数料をとっていた。「docomapp JAPAN」は運

送会社間の空車情報の商談には介入せず、手数料が発生しないというのが特長。今後、「DocoMAP」を全国の運送会社向けに、ドコマップジャパンを通じて11月1日から販売開始する。2年間で3万台を目標としている。